

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 年全コース	幼児と環境	古川 由紀子	
サブタイトル	幼児を取り巻く環境について考える	単 位 数	1
授業形態	講義		
開講時期	前期	出席要件	4／5 以上
到 達 目 標			
1. 身近な環境に興味をもつことができる。 2. 幼児を取り巻く環境と幼児の発達にとっての環境の意味を理解することができる。 3. 幼児教育の基本「環境を通しての学ぶ」の意味を理解することができる。 4. グループ討議の中で自分の考えを明確にもち他者に伝えることができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
・保育に対する情熱と使命感・責任感を持ち、保育内容の専門的知識を習得する。 ・協働学習を通して、豊かな人間性を身に付ける。 ・カリキュラムマップの「保育を構築する」に位置づいており、保育内容の充実を図るため確かな学びの構築を図る。			
授 業 の 方 法			
・テキスト、事例や映像を通して、グループ討議や発表など、アクティブ・ラーニングの授業展開により対話的・主体的に学ぶ。 ・ノート、ワークを活用し、予習、復習、本時の振り返りなど学習を深める。 ・自己の考えを明確にもつとともに、グループワークを通じて他者の意見を傾聴し学びを深める。 ・対面もしくは遠隔で実施する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『幼稚園教育要領解説』文部科学省 フレーベル館 2018 年 教材：視聴覚教材の活用			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
・幼児と環境の関わりについて説明できる。 ・環境の意味について説明できる。 ・毎回の振り返りをまとめることができる。 ・グループワークで自己の考えを明確にもち発表できる。		レポート（授業内・期末） 60% 授業の振り返り・グループワーク 40%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
・普段から身近な環境に興味・関心をもつこと。 ・新聞やニュースを通して環境問題に関する情報に興味をもつこと。 ・グループ討議では積極的に発言をすること。 ・グループ発表では他のグループの意見を傾聴し、学びが深まるよう主体的に取り組むこと。 ・授業の振り返りでは授業内容からの学びを自分の言葉で表現すること。200 字以上 ・幼稚園教諭、乳幼児アドバイザーなどの経験を活かして授業を展開し、理論と実践が往還するように授業を展開する。			

科 目 名 幼児と環境

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	【ガイダンス 授業内容 展開について】 シラバスを通して授業内容・目的を理解する。 環境について考える。 【幼児期の発達にとっての環境の意義】 事例や映像を通して各年齢の環境への関わりを理解する。 環境の意義を考える。 *振り返り記入	授業の目的の理解 分析力 考察力
2 回	【幼児と環境との関わり】 ① 思考力の芽生え 事例や映像を通して幼児期における思考力を理解する。 思考力の芽生えを養う環境についてグループ討議をする。 グループ発表をする。 *振り返り記入	分析力 考察力 討議する力 発表力 傾聴力
3 回	【幼児と環境との関わり】 ② 自然との関わり・生命尊重 事例や映像を通して幼児と自然との関わりについて理解する。 飼育栽培活動の意義について考える。 自然に親しむ活動について理解する。(ネーチャーゲームを通して) レポートにまとめる。	分析力 考察力 文章表現力
4 回	【現代的課題について考える】① 多様性の社会環境 インクルーシブ保育について理解する。 ユニバーサルデザインの意義について理解する。 園生活におけるピクトグラムを考え作成する。 *振り返り記入	インクルーシブ保育の 理解 考察力 表現力（絵）
5 回	【現代的課題について考える】② ICT 社会と直接体験 子どもの生活と情報機器との関わりについて理解する。 保育での ICT 活用について考える。 絵本の読み聞かせと DVD 視聴から違いを考える。 レポートにまとめる。	分析力 考察力 文章表現力
6 回	【現代的課題について考える】③ 環境問題と保育 SDGs 地球環境について理解する。 環境保護教育について理解する。 保育の中での SDGs を理解する。 *振り返り記入	分析力 考察力 情報収集力
7 回	【環境からの学び・まとめ】 幼児がさまざまな環境に関わることによって何を学ぶかを考える。 幼児と環境のまとめ レポート作成「幼児にとって環境とは」	考察力 文章表現力